

所属	心理学研究科 臨床心理学専攻 修士課程	修了年度	2021 年度
氏名	中山 遥	指導教員 (主査)	杉本 希映

論文題目	大学生のソーシャル・エモーショナル・ヘルスと学校適応感との関連
------	---------------------------------

本文概要

【問題と目的】近年、メンタルヘルスの課題を考える上で、肯定的側面を促進することが注目されている（飯田他，2019）。肯定的要素を包括的に捉える概念として Renshaw et al. (2014) は、「ソーシャル・エモーショナル・ヘルス（以下、SEH）」を提唱した。SEH は、肯定的な感情的・心理的・社会的ウェルビーイングを表す概念であり、若者が積極的に自分が何者であるかを模索するなかで、社会的文脈に「適合 (fit)」できているという結論にいたっているかどうかの認識（自己概念）である。「自己概念」の上位概念に Covitality が位置づけられており、「複数のポジティブな心理学的構成概念の相互作用によって生じる、ポジティブな精神的健康の相乗効果」と定義されている（Furlong et al., 2014）。この Covitality を高めることは大学生の学校適応感に影響を及ぼすと考えられる。よって本研究では研究 1 として、大学生の SEHS (Furlong et al., 2017, 以下 SEHS-HE) の日本語版を作成する。研究 2 では、大学生の学校適応感と SEH の関連を検討する。

【方法】研究 1：対象者は大学生 434 名。調査内容は①フェイスシート：年齢，性別，学年 ②翻訳した SEHS-HE (Furlong et al., 2017) ③主観的幸福感尺度（大石，2009）④日本語版 The Positive and Negative Affect Schedule (PANAS) (川人・大塚・甲斐田・中田，2011) ⑤Depression Anxiety Stress Scales21 (DASS21) (Lovibond & Lovibond, 1995)。研究 2：対象者は大学生 226 名（うち 110 名は研究 1 と同一対象者）。調査内容は①フェイスシート：年齢，性別，学年 ②SEHS-HE (Furlong et al., 2017) ③大学生用ストレス尺度（菊島，2002）④大学生用適応感尺度（大久保・青柳，2003）。

【結果】研究 1：三次因子モデルを仮定し、確認的因子分析を実施した。その結果、 $\chi^2=2.189$, $df=579$, $p<.001$, GFI=.837, AGFI=.813, RMSEA=.052 であり、適合度はやや低いながらも Furlong et al. (2017) と同じ因子構造が確認できた。4 領域において $\alpha=.88\sim.95$ 、再検査信頼性では $ICC=.88\sim.95$ であり、時間的安定性と内的整合性が確認された。併存的妥当性検討の結果、Covitality と主観的幸福感尺度、PANAS ポジティブ因子に強い正の相関、DASS21 の抑うつ因子に弱い負の相関が認められた。よって、概ね Furlong et al. (2017) と同様の結果が示され、ある程度の妥当性が確認できた。研究 2：ピアソン積率相関係数を算出した結果、Covitality とストレス度に弱い負の相関、大学生用適応感尺度の 4 因子に正の相関が認められた。次に従属変数を大学生用適応感尺度の 4 因子、ストレス度を統制変数としてステップ 1 に投入、SEHS-HE の 4 領域をステップ 2 とした階層的重回帰分析（強制投入法）を実施した。その結果、「居心地の良さの感覚」因子には「他者信頼」領域と「生活の充実」領域、「被信頼・受容感」因子には「他者信頼」領域と「生活の充実」領域、「拒絶感の無さ」因子には「感情コンピテンス」領域が有意な正の影響を示した。このことから、大学生の学校適応感には Covitality の中でも特に「他者信頼」領域や「生活の充実」領域が影響していることが示された。

【考察】研究 1：SEHS-HE を作成し、尺度の信頼性と妥当性を検討した。日本において有効な尺度が開発できたと考えられる。一方、適合度指数がやや低かった点と、妥当性検討については検討を重ねていく必要がある。研究 2：SEHS-HE と大学生用適応感尺度の各下位因子に正の相関が示された。したがって、Covitality を高めることは学校適応感を高めることを示唆している。特に学校適応感にはソーシャルサポートの存在、生活への期待や周囲へ感謝の気持ちを持っていること、行動制御や自分の気持ちを前向きにでき、他者の気持ちを理解できることが主に影響していると考えられる。

